

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証

2025 年度 4 期(東京, 福岡, 大阪)

新規技術検定試験のご案内

2025 年 12 月 22 日
 一般社団法人 日本溶接協会
 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会

この技術検定試験は、WES 8110 及び WES 8111(*)に基づき、型式認証された溶接ロボットを用いて建築鉄骨の製作を行う建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証のために実施します。

- (*) WES 8110 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの技術検定における試験方法及び判定基準
 WES 8111 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証基準

表 1 2025 年度 4 期の技術検定試験の予定

期	コード	期 日	開催地	会 場	申請期限日
4	GK176	2026 年 02 月 14 日(土)	東京	溶接会館 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 電話 03-5823-6325	2026 年 01 月 23 日 (金)
	GK177	2026 年 02 月 15 日(日)	東京	溶接会館 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 電話 03-5823-6325	
	GK178	2026 年 02 月 28 日(土)	福岡	福岡商工会議所(博多) 福岡県福岡市博多区博多駅前 2-9-28 電話 092-441-1116	
	GK179	2026 年 03 月 7 日(土)	大阪	ホテルマイステイズ 新大阪コンファレンスセンター 大阪府大阪市淀川区西中島 6-2-19 電話 06-6302-5571	

(注 1) 受験申請者が少ない場合(新規・再評価受験の合計で 10 名/1 会場に満たない場合)は、当該会場での試験は中止になります。その場合、申込みされた方には事前に連絡します。

(注 2) また、受験可能人数は東京会場 60 名、福岡会場各 40 名、大阪会場 40 名です(いずれも新規・再評価受験の合計数。東京会場は 14 日、15 日の合計数)。これを超えた場合は受験申請を受付けできません。

くなお、来年度の予定は次のとおりです。>

2026 年度	コード	期 日	開催地	会 場	案内掲載	受付期間
1 期	GK180	2026 年 5 月 30 日(土)	東京	溶接会館	3 月末	～4 月 下旬
	GK181	2026 年 6 月 6 日(土)	福岡	福岡商工会議所(博多)		
	GK182	2026 年 6 月 7 日(日)	大阪	(未定)		
2 期	GK183	2026 年 9 月 5 日(土)	東京	溶接会館	6 月末	～7 月 下旬
	GK184	2026 年 9 月 6 日(日)	大阪	(未定)		
3 期	GK185	2026 年 11 月 14 日(土)	福岡	福岡商工会議所(博多)	9 月末	～10 月 下旬
	GK186	2026 年 11 月 28 日(土)	東京	溶接会館		
	GK187	2026 年 11 月 29 日(日)	東京	溶接会館		
	GK188	2026 年 12 月 5 日(土)	大阪	(未定)		
4 期	GK189	2027 年 2 月 20 日(土)	東京	溶接会館	12 月末	～1 月 下旬
	GK190	2027 年 2 月 21 日(日)	東京	溶接会館		
	GK191	2027 年 2 月 27 日(土)	北海道	(未定)		
	GK192	2027 年 3 月 6 日(土)	大阪	(未定)		

1. 受験資格について

【基本級】

以下の(1)から(4)をすべて満たすこと。

- (1) JIS Z 3841／WES 8241 に基づく半自動溶接技能者の基本級 (SA-2F, SA-3F, SN-2F, SN-3F のいずれかの資格) を現有している者。
- (2) 建築鉄骨の溶接に1年以上従事していること。
- (3) 「産業用ロボット安全衛生特別教育」修了証(注3)を保有する者(80Wを超えた駆動電動機を有するロボットを使用の場合)。
- (注3) 労働安全衛生法第59条・同規則第36条に基づく講習
- (4) 「建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育」の受講修了証(注4)を保有する者。

ただし、訓練又は当ロボット溶接オペレータ資格登録者の補助として、表3に示す基本級資格認証範囲のうち、申請しようとする種別記号のロボット溶接を100日以上行った経験のある者は、この受講を免除します。

(注4) (一社)日本溶接協会からの委託によってロボットメーカーが実施する教育で、受講修了証は(一社)日本溶接協会が発行します。この教育の受講を希望する場合は、御社で使用している溶接ロボットのメーカーにお問合せ下さい。

【専門級】

以下の(1)及び(2)を満たすこと。

- (1) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの基本級 (PP-FS, PP-FF, SD-FN, CD-FN のいずれかの資格) を現有している者。
- (2) 申請する機種 of 当該種別ごとに100日以上の溶接ロボットによる溶接訓練もしくは補助の経験のある者。

2. 技術検定試験の内容について

2.1 講習会及び口述試験

技術検定試験は、WES 8110 及び WES 8111 に基づき以下のとおり実施します。

なお、講習、筆記試験及び口述試験は日本語で行います。外国人の方はご注意ください。

- (1) 講習 (09:30～12:05)
 - (2) 筆記試験 (12:15～12:45)
 - (3) 口述試験 (12:30～17:00)(講義内容、業務経験等から質問される)
- (口述試験の開始・終了時刻は受験人数により変わります。)

注意：なお、追試(2025年第1期以降の受験で不合格)の方は、講習会でお配りしたテキスト「新版 建築鉄骨ロボット溶接入門」を必ず持参ください。

(備考) 参考書

この筆記試験の参考書として、「建築鉄骨ロボット溶接オペレータ技術検定試験 受験の手引」[産報出版(株) 販売部 東京：TEL. 03-3258-6411, 大阪：TEL. 06-6633-0720, 価格 2,860 円 (本体 2,600 円 + 税 10%)] が発刊されています。これには演習問題とその解説が掲載されていますので、事前に購入し、予習しておくことをお勧めします。

なお、従前は事前に演習問題集をお送りしていましたが、上記の書籍発刊に伴い、演習問題集の送付は行っておりません。

3. 受験申請手続きについて

3.1 提出書類

本協会ホームページから受験申込書・職務経歴書の用紙をダウンロードして、申請して下さい。

(「受験申込書記入上の注意事項」についても、併せてダウンロードして下さい。)

(顔写真は無帽、上半身で、最近6ヶ月以内に撮影したものを貼付して下さい。)

(1) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ技術検定試験受験申込書

(2) 受験者の職務経歴証明書

(申請する機種ごとに100日以上ロボット溶接による溶接訓練もしくは補助の経験が必要。ただし、下記(3)

④の有効なロボット溶接オペレータ特別教育の受講修了証を保有している場合は、その経験日数は不問)

(3) 添付書類

(下記①～④の書類はA4サイズでコピーし、申請書1件ごとに添付して下さい。)

① 現在保有している JIS Z 3841/WES 8241 半自動溶接技能者適格性証明書 (基本級・専門級) のコピー
(ロボット溶接オペレータの専門級を受験する場合は、半自動溶接技能者の専門級の適格性証明書が必要です。)

② 申請する種別と同じ種別のロボット型式認証書 (日本ロボット工業会発行) のコピー

(注5) ロボット型式認証書は合否判定日(2026年3月17日)において有効期間内であり、附属書を含めてA4サイズでコピーし、申請書1件ごとに添付して下さい。

※ロボット型式認証書の有効期限がサーベイランス判定日以前に切れる場合は、以下の対応をお願いします。

1) 現状のロボット型式認証書に「追って差し替える」旨を記した付箋等を貼付する。

2) 1)の認証書を申請書に添付して、申請する。

3) 新たなロボット型式認証書入手後、速やかに事務局へ送付する。

(この場合、どの受験者の申請書に添付するロボット型式認証書であるかわかるように送付ください。)

[建築鉄骨溶接ロボット型式についての注意事項]

(注6) アークマン RON/MP の SDFN はロボット型式が3種類 (SDFN061, SDFN067, SDFN068) あり、入熱とパス間温度に差があります。したがって、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 は1つの受験申込書中に一緒に記載しないで下さい (一緒に記載した場合、口述試験において評価上の不都合が生じる場合があります)。どうしても必要な場合には、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 のそれぞれの申込書を作成 (申込書2件作成) して下さい。なお、CDFN062 と CDFN069 の場合も同様です。

(注7) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証においては、アークマンの RON/MP と MP は別機種扱いです [石松の IR-700/900/100 と IR-700REG/900REG/100REG の場合、ARCMAN A60 の SDFN108・113 と SDFN115 (REGARC) 及び CDFN114 と CDFN116 (REGARC) の場合も同様です]。

1つの受験申込書に、アークマン RON/MP の型式認証書とアークマン MP の型式認証書を一緒に添付することはできません。アークマン RON/MP の型式とアークマン MP の型式の両方を適用する場合は、受験申込書も2つ(アークマン RON/MP とアークマン MP)作成して、提出して下さい(合格後の適格性証明書も、アークマン RON/MP とアークマン MP の2枚発行されます)。

なお、アークマン RON/MP の型式認証記号とアークマン MP の型式認証記号は下記のとおりです。

アークマン RON/MP の型式認証記号(下7桁のみ記載)

PPFS066

PPFF058

SDFN061, SDFN067, SDFN068

CDFN062, CDFN069

PPVS055

PPVF054

PPHS060

PPHF059

SDFN072

CDFN073

- ③ 産業用ロボット安全衛生特別教育修了証のコピー(80W を超えた駆動電動機を有するロボットを使用の場合は必須)。なお、80W 以下の駆動電動機を有するロボットを使用する場合で安全衛生特別教育修了証をお持ちではない場合は、ロボットメーカーが発行した「操作教育修了証」を、お持ちであれば、添付ください。
- ④ 日本溶接協会主催の建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育の受講修了証のコピー
(上記(2)で、ロボット溶接 100 日以上の経験がある場合は不要)
- ⑤ 受験料の銀行振込控のコピー(A4 用紙へ実物大コピー。拡大はしなくて結構です。)

＜お願い！＞ 提出書類については、必ず控え(コピー)を保管して下さい。

(注 8) 記入した申請書と職務経歴証明書は、写真を貼付し、本人印と所属長印を押印して、コピーをとった後、提出して下さい。申請書(職務経歴証明書等添付書類を含む)は必ず本人が内容を確認して下さい。なお、口述試験中に「申請書の内容は知らない。」、「事務方が勝手に書いた」など申請書の内容を否定するような発言は申請書内容の虚実記載として、口述試験の取りやめ又は不合格とする場合がありますので、ご注意ください。

[職務経歴書を記入するときの注意点]

申請する種別すべてについて、主な実務経歴を記入して下さい。

実務経歴は、産業用ロボット安全衛生特別教育修了後から申請日までで、かつ、申請日前 3 年の期間におけるロボット溶接の経歴が記入できます。

職務経歴書に不備があると受験資格が不十分となり、受付できない場合があります。また、記載内容に虚偽があった場合は、取得資格が取消しになる場合がありますので、ご注意下さい。

3.2 受験料及び振込先

(1) 受験料

新規受験の受験料(消費税 10%込み)は 37,950 円です。

なお、受験料の詳細は別紙を参照して下さい。

(2) 受験料の振込み先

三井住友銀行 神田駅前支店 普通預金 No.1304625 一般社団法人 日本溶接協会

(注 9) 振込手数料は、受験申請者の方でご負担願います。振込控のコピーを受験申込書に添付して下さい。振込控(写)がない場合は、受付できませんので注意して下さい。

(3) インボイス対応領収書の発行について

新規受験料、再評価受験料、サーベイランス申請料の振込みに対するインボイス対応の電子領収書は当協会ホームページからダウンロードすることができます。

新規受験の場合は受験番号(申込後に発行される受験票に記載)・氏名(カタカナ)・生年月日を入力することで、概ね 6 月末からダウンロードできるようにします。

【(一社)日本溶接協会 登録番号：T5010005004461】

3.3 申込み先

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

(一社)日本溶接協会 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会 事務局 (西村)

TEL.03-5823-6325 FAX.03-5823-5211 (E-mail: yoshihito_nishimura@jwes.or.jp)

3.4 受付期間と受験票の送付

表 1 に示す受付期間内に、提出書類を 3.3 項の申込み先に提出して下さい。

受験票は、開催日の約 2 週間前に勤務先(連絡先)に送付します。

4. 受験申し込み後、受験ができなくなった場合の対応方法について

4.1 受験の1週間前より前の場合

FAX 又は E メール（書面に残る形）にて、事務局へ以下の項目を記載の上、ご連絡ください。

1. 受験を延期したい旨 又は 受験を取りやめたい旨の記載
2. 受験番号、受験者氏名
3. 受験を延期したい場合は次回受験予定期日
4. 会社名、連絡先の担当者氏名、電話番号

本手続きにより受験を取りやめる場合は、手数料を引いて受験料金は返金します。受験を延期する場合は、受験料は次回受験に引き継ぎます。返金の手続き方法については、事務局より別途ご案内申し上げます。

4.2 受験の1週間前から前日までの場合

まずは、電話にて、事務局にご連絡ください。その後、FAX 又は E メール（書面に残る形）にて、事務局へ以下の項目を記載の上、ご連絡ください。

1. 受験を延期したい旨 又は 受験を取りやめたい旨の記載
2. 受験番号、受験者氏名
3. 受験を延期又は取りやめたい理由
4. 受験を延期したい場合は次回受験予定期日
5. 会社名、連絡先の担当者氏名、電話番号

ご申告いただいた理由によっては認証・評価委員会での承認が必要となります。受験を取りやめる場合で承認が得られた場合は、手数料を引いて受験料金は返金します。受験を延期する場合は、受験料は次回受験に引き継ぎます。返金の手続き方法については、事務局より別途ご案内申し上げます。

5. 当日、遅刻しそうな場合は、受験票記載の携帯番号へご連絡いただき、事務局の指示に従ってください。

6. 資格認証の範囲など

資格認証の範囲は表 2 のとおりです。また、ロボット溶接実技試験の免除条件となる半自動溶接技能者の専門級資格は表 3 のとおりです。

表 2 資格認証の範囲

(WES 8111「建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証基準」から)

級別	種別記号	継手の区分	溶接姿勢	エンドタブの種類
基本級	PP-FS	通しダイアフラムと梁フランジ	下向 (F)	スチールタブ
	PP-FF	H 形鋼柱と梁フランジ		スチールタブ，代替タブ
		溶接組立箱形断面柱と梁フランジ		
		十字柱と梁フランジ		
基本級	SD-FN	H 形鋼柱と通しダイアフラム	下向 (F)	なし
		十字柱と通しダイアフラム		
		角形鋼管柱と通しダイアフラム		
	CD-FN	角形鋼管柱と角形鋼管柱		なし
専門級	PP-VS	円形鋼管柱と通しダイアフラム	立向 (V)	スチールタブ
	PP-VF	円形鋼管柱と円形鋼管柱		スチールタブ，代替タブ
	PP-HS	溶接組立箱形断面柱と梁フランジ		スチールタブ
	PP-HF	十字柱と梁フランジ		スチールタブ，代替タブ
	SS-HA	通しダイアフラムと梁フランジ	横向 (H)	なし
	SS-HN	角形鋼管柱と角形鋼管柱		なし
	CC-HA	角形鋼管柱と通しダイアフラム		なし
	CC-HN	円形鋼管柱と円形鋼管柱		なし
	HH-HS	円形鋼管柱と通しダイアフラム		スチールタブ
	HH-HF	H 形鋼柱と H 形鋼柱		スチールタブ，代替タブ
	BB-HC	H 形鋼柱と通しダイアフラム		コーナタブ
	BB-HN	溶接組立箱形断面柱と溶接組立箱形断面柱		なし
	BB-HN	溶接組立箱形断面柱と通しダイアフラム		なし
		溶接組立箱形断面柱と通しダイアフラム		

表 3 ロボット溶接実技試験の免除条件となる

JIS Z 3841 / WES 8241 に基づく半自動溶接技能者の専門級資格

専門級申請資格の種類		JIS Z 3841 / WES 8241 に基づく 半自動溶接技能者の専門級資格
継手の区分	種別記号	
通しダイアフラムと梁フランジ 柱と梁フランジ	PP-VS	SA-2V,SA-3V,SN-2V,SN-3V のいずれか
	PP-VF	
	PP-HS	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
	PP-HF	
角形鋼管柱と角形鋼管柱	SS-HA	—
	SS-HN	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
円形鋼管柱と円形鋼管柱	CC-HA	—
	CC-HN	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
H 形鋼柱と H 形鋼柱	HH-HS	
	HH-HF	
溶接組立箱形断面柱と 溶接組立箱形断面柱	BB-HC	
	BB-HN	

《参考》 受験後の対応と手続きなどについて

5. 試験結果の発表と登録申請について

試験結果（可否）については、勤務先（連絡先）宛に可否通知書を郵送します。電話等による照会には応じられません。

合格された方には、合格通知書と一緒に登録申請書を送付します。資格の登録には登録申請の手続きが必要で、登録料（認証料）を振込みの上、指定された期限までに申請して下さい。

6. 適格性証明書の交付について

登録申請書の受領後、所定の建築鉄骨ロボット溶接オペレータ適格性証明書が交付されます。

交付日は2026年5月01日です。

7. 資格更新について

7.1 認証の有効期間

資格認証の有効期間は、交付日より2年間です。

7.2 サーベイランス

資格登録後2年を経過する前に、その期間に従事したロボット溶接の実務業務について書類審査を行い（サーベイランス）、合格すれば有効期間を2年間延長した適格性証明書が交付されます。サーベイランスは2回まで受けることができます（延べ有効期間は最大6年です）。

資格の有効期限の約4カ月前にサーベイランス案内を勤務先（連絡先）に送付します。

また、サーベイランス手続きについては、別途費用が必要です。

7.3 再評価

資格の登録後6年を経過する前（即ち、サーベイランスを2回受けてから更に2年を経過する前）に、資格の更新を希望する場合は、WES 8111に基づく再評価試験を受ける必要があります。

資格の有効期限の約7カ月前と約4カ月前に再評価案内を勤務先（連絡先）に送付します。

なお再評価試験の手続きについては、別途、費用が必要です。

基本級：講習会受講と口述試験

専門級：講習会受講と口述試験とロボット溶接実技試験

（ロボット実技試験の免除条件は新規技術検定試験と同様）

7.4 サーベイランス案内、再評価案内が届かなかった場合

サーベイランス案内、再評価案内が届かなかった場合、至急、事務局へご連絡ください。案内が届かなかった場合でも、資格の有効期限直前の受験日（サーベイランスはサーベイランス審査日）で受験が出来なかった場合は、原則、その資格はその有効期限で失効します。資格の有効期限管理は、資格保持者と資格保持者の所属する企業様の責任でお願いします。

以上